



日本平和委員会の青年による

「ピースエッグ」開催協力を快諾！

篠原事務局長 茨城大学 佐々木啓先生を訪問

茨城大学人文社会科学部の佐々木啓(ささき けい)准教授を訪問しました。佐々木先生は日本近現代史、労働運動史などを教えています。また県平和委員会に入会されています。明日から冬休みに入るといふ授業の合間に40分ほど懇談させていただきました。

訪問の目的は、日本平和委員会青年部が企画している「ピースエッグ」(2023年1月28日～29日)のチラシを学内に置いてもらい、平和問題などに関心のある学生に宣伝してもらおうことでした。この申し出を快く引き受けてくださり、

学習会の講師、「平和かわら版」への寄稿も承諾していただきました。

先生は、戦争の実態を後世に伝えるための活動として、人文社会科学部の学生たちと県内12か所の戦跡(阿見町一霞ヶ浦海軍航空隊の遺構等)を撮影し映像作品としてまとめているとのこと。

戦争と平和の問題が身近に感じられる今、各地域でも若者たちとの出会いと交流の場をつくる、意見交換、新しい企画などにもチャレンジを！



▲佐々木先生

ロシアによるウクライナ侵略から10カ月
12/24(土)30回目の抗議集会！

インフラ攻撃により
生活に困窮するウクライナの人々…

岸田内閣の退陣を求める！

過去最高の
軍事予算

ロシアによるウクライナ侵略・戦争から10カ月目となる12月24日(土)、県平和委員会は、水戸駅南口デッキにおいて30回目となる抗議集会をおこないました。「さくらの街日立平和の会」や「新婦人水戸支部」、途中から「茨城労連」などから7人が参加しました。

クリスマスイブのこの日は、中学生や高校生が冬休みに入っており、通行途中で「頑張ってください」などと小声で励ましてくれる高校生もいました。また「関心がありますよ」と、視線を合わせてくれる若者もいました。日差しが強かったにもかかわらず、風は非常に冷たかったこの日。日本ば



かりでなく北半球には寒波が押し寄せていると報道されています。

とりわけウクライナは、発電所や変電所などのエネルギー施設、インフラ設備が集中的に攻撃・破壊されています。ウクライナの人たちは、照明

や暖房、水や食料のない中で厳しい冬を迎えることを余儀なくされています。地対空ミサイル「パトリオット」等の軍事支援より、一日でも早い戦争終結のための仲介外交が必要です。

岸田首相は「ロシアによるウクライナ侵略」を口実にして「安保3文書」(⇒「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」)を改訂。12月23日には、「2023年度政府予算案」と「税制改正大綱」を閣議決定しました。予算案では軍事費は22年度の1.26倍になる6兆8,219億円と過去最高を更新しました。額は、文教科学振興費の5兆4,158億円を大きく上回ります。

軍事費拡大とその軍事費捻出のための増税強行案に、木村泉県平和委員会代表理事は「軍事栄えて民減ぶ予算だ。危険で愚かな岸田内閣を退陣に追い込もう」と訴えました。



▲木村代表理事

要請書に基づいて東海第二原発関連6市村訪問

～ 方針撤回を求める運動が求められている ～

▼東海村との懇談



12月23日(金)、原発いらない茨城アクション実行委員会が「東海第二原子力発電所の『2023年度内の再稼働』に係わる6市村首長への質問及び要請書」に関する懇談のため、6市村を訪問しました。県平和委員会から篠原事務局長が参加。総勢6人でした。

東海村及びひたちなか市では再稼働に反対する議員も同席。東海村→日立市→常陸太田市→那珂市→ひたちなか市→水戸市と順次訪問し、それぞれ要請書に基づいて回答を受け取り、各自治体担当者と30分程度懇談しました。水戸市は市長が自ら出席しました。

主な質問は、「岸田首相が8月24日、2023年度内に再稼働を目指すと言った発言をどのように受け止めたか」「運転期間60年の運転延長について」「改めてエネルギー基本

計画の原点を忘れてはいけない」の3点。要請事項は「6市村首長懇談会を開き、今後の対応を進めてもらいたい」という内容でした。

いずれの自治体も「岸田首相の発表について事前に連絡はなかった」「エネルギー政策は国が判断し、国民に説明すべき」「安全性の確保が第一」「避難計画は粛々とすすめている」「『スケジュールありき』ではなく、6市村ですすめていきたい」などの回答でした。水戸市長は「停止期間中は除外するというが経年劣化はすすむ。60年以上の稼働について問題はないのか。疑問に感じている」と述べています。

岸田首相を議長とするグリーントランスフォーメーション(GX)実行会議は同月22日(木)、原発の新規建設推進、60年超の運転を認めることなどの基本方針を決めました。福島第一原発事故の教訓を踏まえて定められた「可能な限り原発依存度を低減する」「(新增設・建て替えは)想定していない」などの方針を投げ捨てようとしており、方針の撤回と「原発回帰」は断じて許さない運動の広がりが求められています。

「百里基地平和公園の整備作業」に参加しよう!

昨年、百里基地では9月のドイツ空軍との共同訓練に続き、11月10日～18日には米軍三沢基地のF16戦闘機が12機飛来して日米共同訓練が行われました。今年は年明け早々、1月16日～27日までインド空軍機が飛来して共同訓練を行います。また、「土地利用規制法」に基づく「注視区域」「特別注視区域」への指定も予想され、きな臭さが漂う百里基地です。

12月17日(土)は悪天候のため作業中止、今回は初午まつりに向けた平和公園の整備もかねて、樹木の剪定などの管理作業を行いますので、参加をよろしくお願ひします。

日程 1月22日(日) 9時30分～

場所 平和公園(雨天延期)

作業内容 樹木の伐採など整備作業

必要な物 作業できる服装 ※昼食は用意します。

問合せ先 百里の会(伊達所持) 080 9457 6381 風間 道夫 090 2339 0025
梅沢 優 080 1172 3075 栗又 衛 090 2213 8339

●憲法9条学習会「小森陽一氏講演会」変更のお知らせ●
かわら版12/15号でお知らせした日時・場所が下記に変わりました。

【日時】 2023年 1月29日(日) 午後1時～3時

【場所】 常陸大宮市文化センター 小ホール
常陸大宮市中富町3135-6 0295-53-7200

茨城県平和委員会 第2回 理事会 開催

日時 1月21日(土) 13時～15時30分

場所 水戸共同ビル2階 水戸市白梅3-13-8

主な議題 仲間を増やす取組み
初午祭 「安保3文書」撤回など

「県革新懇学習会(新春の集い)」がおもしろい!

講演 布施裕仁さん(元「平和新聞」編集長)

演題 「戦争する国づくり」と日本の針路

日時 1月25日(水) 13時30分～15時30分

場所 県青少年会館 水戸市緑町1-1-18

0292-26-1388

2月11日「百里平和公園 初午まつり」を開催!

日時 2月11日(土)
10時～15時00分

場所 「百里平和公園」
(百里基地内)

内容 式典(12:00～)
交流(13:00～)

○赤飯・祝い酒(無料)が
お待ちしております!

